

社会科 部門

文部大臣奨励賞

「福祉活動とボランティア」

岐阜県岐阜市立長良中学校

二年 柳川 文香



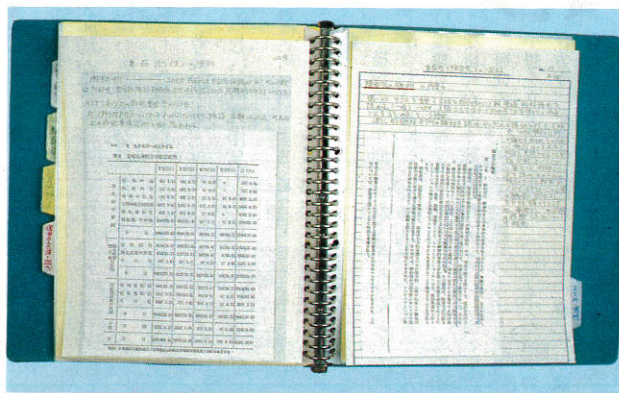
ボランティアを扱った作品は、ともすると実践だけで終わりがちです。この研究は、文献をよく読むなど理論面もしっかりしており、知識・感性・体験が一体化した、自己発見のレポートに仕上がっています。福祉問題がすっかり自分自身の問題になっていた点には、かなり高い評価が集まりました。将来を意識して取り組んでいたからでしょうか。

☆総評☆
今年は戦争・環境・福祉など、今日的な課題を扱った作品が目立ちました。また、年々体験的な作品が増えていますが、体験のみで終わっている作品が多いのは残念です。体験を通して自分が思ったこと、感じたこと、考えが変わったことなどを、見直してみましよう。

「将来、福祉関係の仕事につきたい」という柳川さんの願いから、この研究は出発しています。そのためには、これから自分はどうしたらいいのか、どうしていききたいのか。これらのことを、研究を通して、しっかりと考えようとしています。

実際に国立病院の重症心身障害児の人達と過ごし、ボランティア活動をするだけでなく、様々な文献をも読んでいます。

結論では、福祉を職業とすること、ボランティアをすることの責任の違いを認識します。そして、福祉に関する現実をふまえた上で、やはりこの仕事がしたい、という思いを強くしています。



優秀賞

「もしも、電気がなかったら」
神奈川県茅ヶ崎市立鶴嶺小三年
石井香奈



▲ 家族みんなで、電気を全く使わない不便な生活を体験して、電気の大切さを実感しています。あかりの今昔をおばあちゃんの話の聞いたり、博物館で調べたり、楽しんで研究しました。

「聖神社のひみつ」
広島県甲山町立中央小六年
松井勇樹



▲ 学校の裏山にある聖神社には、様々な人がお参りに来ます。なぜ、人々は神にたよるのだろう、という疑問がこの研究のきっかけです。地域の人々と神社についてアンケートをとり、調査したことで、テーマに近付いている点が評価されました。



「木曾三川の洪水一輪中・宝暦治水について」 東京都東京学芸大学
附属竹早中二年 山川 豊

▲ 「輪中」と「宝暦治水」の二つをテーマに、長良川と人のかかわりについて研究しています。しっかり文献を読み、自分の足で調べ、時間をかけてまとめあげた秀作です。

その他の受賞作品

◆優良賞 「こみとりサイクル」(東京学芸大学附属小金井小三年) 飯沼慶児 「石器をつくろう」(東京学芸大学附属小金井小五年) 金佑吏 「車社会は人間にとって幸せか―旧東海道とトンネル・橋の進歩―」(静岡市立三番町小六年) 宮内春奈 「甲山甘日えびす」(甲山町立中央小六年) 山下哲哉 「大潟村は今―これからの日本の稲作農業―」(東京学芸大学附属竹早中一年) 磯崎陽子

◆佳作 「目の見えない人の立場になつて」(星美学園小三年) 大江茉莉亜 「マンホール大図鑑」(京都教育大学教育学部附属京都小三年) 水谷勝一 「戦争と原爆」(東京学芸大学附属小金井小四年) 松本有貴 「私のボランティア 私の町のボランティア」(柳津町立柳津小四年) 炭竈ともみ 「SHINBUN」(柳津町立柳津小五年) 青木佑佳 「お米の研究」(高富町立高富小五年) 古川文香 「動物病院体験記パート5―都市型畜産編―」(大阪教育大学教育学部附属天王寺小五年) 網本麻帆 「何があったの―祖父母達とたどる戦争―」(茅ヶ崎市立浜須賀小六年) 荻野まや 「戦争のおそろしさを知る―広島平和公園をおとすれて―」(柳津町立柳津小六年) 森由佳 「古墳探検隊」(古墳から考える―)(甲山町立中央小六年) 小林裕幸